

～ あなたの“読みたい”応援します ～



～秋の夜長に～ 読書のススメ

気づけば日暮れが早くなり、朝晩は肌寒いと感ぜられる日も多くなってきました。読書を楽しむにはうってつけの季節ですね。図書館への道のりは皆さんには遥か遠く長いのかもしれませんが、ながながしのおともを探しに、ぜひ図書館へ。今なら1年生作成のPOPが皆さんの読書欲をかき立ててくれること間違いなし！



❀読書の秋❀

LHRでビブリオバトル！
10/20（水）

1, 2年生は10月20日(水)のLHRで2回目のビブリオバトルに取り組みます。夏休みに書いてもらった、おすすめ本の紹介文を読み合い、読みたくなった本、面白そうな本を選びます。この取り組みを通して、高体連中の「読書の時間」や11月2日(火)からの朝読書に向けて読む本を見つけてもらいたいと思います。自分で探しているだけではたどり着くことの出来なかった、思いがけない本との出会いがあるかもしれませんね。



利き蜜師物語 銀蜂の目覚め

利き蜜師・仙道は、村に入り込んだ銀蜂に気づく。東の地で何かが起こり始めている。仙道は幼い弟子を連れて旅立つが…。第三回「暮らしの小説大賞」出版社特別賞受賞作。

産業編集センター

CCCメディアハウス

考えの整頓

NHK教育テレビ「ピタゴラスイッチ」の企画・監修を担当する佐藤雅彦さんのエッセイ。日常の細(さ)やかな疑問を細(こま)やかに綴る。

暮らしの手帖社

使える禅

悩みとは実態のないもの。自分の考えでストレスをためるのはもうやめにしませんか。ダルマが語る禅を日々の生活に取り入れよう。

朝日新聞出版

スモールワールド

連作短篇6作品。どのお話も短篇とは思えない密度で、読ませます。踏み込んだら戻れない。一穂ワールドへようこそ。

第165回直木賞候補作。

講談社

新潮社

日本語 表と裏

日本人は身体に虫が棲んでいるらしい。調子がよければ“虫がいい”けれど。いらいらすると“虫のいどころが悪”く、だんだん“腹の虫が納まら”なくなってきた、“虫の好かない”相手に“虫ずが走る”ようになる。。。この本読んでみたくなりました？それはきっと“虫の知らせ”です。

値段がわかれば 社会がわかる

ここで問題です。五十年前、おにぎりの値段はいくらだったでしょう。
①百円②十円③ただ
答えは図書館へ！

筑摩書房

講談社

きのう何食べた？！ バイリンガル版

丁寧な食事作りの描写が魅力。よしながふみの世界観を英語で堪能あれ。



新着図書は、蔵書検索システムからもチェックできます。
←QRコードはこちら。貸出ランキングもわかります。

<http://www.lib-finder.net/finder60/>

